

# 地理歴史科「世界史 A」シラバス

## 授業の担当者からのメッセージ

世界史 A では、世界の歴史の大きな流れを近現代史を中心に学びます。私たちの前には民族問題、人口問題、環境問題など解決しなければならない地球規模の問題が山積しています。これらの問題を自覚し、解決の方向を見いだすために、私たちは人類の歴史から学ぶ必要があります。歴史の流れを理解し、どのような力が歴史を動かしてきたのかをつかみましょ。そして、単に過去のできごとを学ぶだけでなく、現代の世界がなぜそうなっているかを考え、地球的課題の起源や背景を追究し、その解決のためにはどうすればいいのかを考えていきます。

具体的には、1・2 学期に歴史的に考察する基礎を身につけ、3 学期には、各自が見つけたテーマを調べ、発表し、レポートにまとめるなどの課題追究学習を行います。

### 1 履修にかかわること

単位数	2	学年	1	学科・コース	全	区分	必修
-----	---	----	---	--------	---	----	----

### 2 使用する主な教材

購入が必要なもの	・教科書（A 社「世界史 A」） ・資料集（C 社「世界史総合図説」...主題別のまとめ、地図、年表、図等からなる）	・歴史地図帳（B 社「歴史地図帳」）
授業で配るもの	・整理プリント（授業の要点を記入）	・資料プリント（補足資料）

### 3 主な学習内容と目標

近現代史を中心とする世界の歴史を、日本の歴史と関連付けながら理解します。  
現代の人類が直面している課題を政治、経済、社会、文化、生活など様々な視点から考察します。  
世界の構造や成り立ちを歴史的な視野から考察する力をつけます。

### 4 年間の学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考	テスト範囲
第 1 学期	1 諸地域世界と交流圏	4	ユーラシア各地で形成された諸地域世界について、それぞれの歴史的特質を大局的にとらえます。 世界の一体化につながるユーラシア規模の交流圏が成立していったことをとらえます。	・小テストを実施します。	1 学期中間テスト
	(1)東アジア世界		(1) 東アジア世界の文化・社会の特質を、風土、生活、言語、思想などの視点からとらえます。		
	(2)南アジア世界 (3)イスラーム世界		(2) 南アジアに宗教と社会制度を共通の基盤とした地域社会が形成されていったことをとらえます。 (3) 西アジアの乾燥・半乾燥地帯を舞台に形成され拡大していったイスラーム世界の基本的特質をとらえます。		

第1学期	(4)ヨーロッパ世界	5	(4) ギリシア・ローマ文明の伝統とキリスト教によって一つの文明を形成したヨーロッパ世界の特徴を、広い視野からとらえます。	・4つの交流圏の中から2つを選択して学習します。 ・ビデオ視聴を行います。 ・小テストを実施します。	1 学期 期末 テスト		
	(5)ユーラシアの交流圏		(5) 8世紀以降、内陸アジアやユーラシア南縁部の海域を中心に大交流圏が成熟したことなどをとらえます。 アフリカ東岸から南シナ海に至る海の大交流圏が形成されたことをとらえます。 内陸アジアのネットワークの概要、諸民族の交流のようす、モンゴルによるユーラシアの一体化をとらえます。				
	2 一体化する世界	6	16世紀以降の、ヨーロッパ主導による世界の一体化と、それに伴って世界が変わっていくようすをとらえます。			・小テストを実施します。	2 中間
	(1)大航海時代の世界	7	(1) ヨーロッパ人の海外進出などを中心に、16世紀の世界の一体化への動きをとらえます。				
	(2)アジアの諸帝国とヨーロッパの主権国家体制	7	(2) アジアの諸帝国とヨーロッパに成立した主権国家体制の特色、世界商業の進展などを中心に、17・18世紀の世界のようすをとらえます。				
<b>【課題・提出物等】</b> ・単元ごとに整理プリントを配付します。単元終了時に提出してもらいます。(8枚程度) ・ビデオ視聴プリントを配布します。視聴後に提出してもらいます。 ・定期テスト後にノート提出してもらいます。 ・夏休みの課題として「歴史新聞」を作成し、2学期のはじめに提出してもらいます。							
<b>【第1学期の評価方法】</b> ・中間テスト、期末テストの成績、小テスト(2回程度実施)、各プリント、ワークシート、ノートなどの提出物、学習活動への参加の態度などで評価します。 ・学期全体の評価は定期テスト及び小テスト、プリントなどの提出物、学習活動への参加状況を総合的に判断して行います。							
第2学期	2 一体化する世界	9	(3) 18世紀以降、西ヨーロッパ諸国とアメリカ合衆国に産業社会が成立し、国民国家の形成が進行したことをとらえます。	・夏休み課題「歴史新聞」提出。 ・小テストを実施します。	2 学期 中間 テ		
	(3)ヨーロッパ・アメリカの諸革命		(4) アジア諸国の内部で進行していた変化とヨーロッパの進出による変貌、19世紀の世界の一体化とその特徴をとらえます。				
	(4)アジア諸国の変貌と日本	10	一体化した現代世界の特徴を大局的にとらえます。 地域紛争と国際世界、科学技術と現代文明などに関する主題学習を行います。	・小テストを実施します。 ・ビデオ視聴を行います。	2 学期 期末 テ ス ト		
	3 現代の世界と日本	11	(1) 19世紀末から20世紀初頭にかけて欧米諸国や日本に新しい社会が出現した意味を、人類史的枠組みの中でとらえます。				
	(1)急変する人類社会	12	(2) 二つの世界戦争を中心に20世紀前半の国際政治の流れを大きくとらえ、現代の戦争の特徴と平和の意義などについても考えます。	・小テストを実施します。	学 年 末		
	(2)二つの世界戦争と平和	12	(3) 第二次大戦後の東西両陣営間の対立や、民族独立運動の展開を学び、1970年頃までの世界の政治・経済の動向をとらえます。				
	(3)米ソ冷戦とアジア・アフリカ諸国						

<p><b>【課題・提出物等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元ごとに整理プリントを配付します。単元終了時に提出してもらいます。(8枚程度)</li> <li>・ビデオ視聴プリントを配布します。視聴後に提出してもらいます。</li> <li>・定期テスト後にノート提出してもらいます。</li> <li>・夏休み課題の「歴史新聞」を2学期のはじめに提出してもらいます。</li> </ul>						
<p><b>【第2学期の評価方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中間テスト、期末テストの成績、小テスト(2回程度実施)、夏休み課題、各プリント、ワークシート、ノートなどの提出物、学習活動への参加の態度などで評価します。</li> <li>・学期全体の評価は定期テスト及び小テスト、プリント・夏休み課題などの提出物、学習活動への参加の状況を総合的に判断して行います。</li> </ul>						
第3学期	3	現代の世界と日本	1	(4) 戦後世界のあり方が1970年代以降大きく変わってきたことを学び、これからの国際社会における日本の役割について考えます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テストを実施します。</li> <li>・(5)ではグループごとにテーマを設定し、調べ学習を行い、成果を発表します。</li> <li>・(6)では各自がテーマを設定し、追究した成果をレポートにまとめます。</li> </ul>	学年末テスト
		(4)地球社会への歩みと日本				
		(5)地域紛争と国際社会	2	(5) 冷戦終結後の世界で起こった地域紛争の原因や歴史的背景を研究し、国際社会の変化や現代国家の課題などについて考えます。		
		(6)科学技術と現代文明	3	(6) 現代の科学技術が人類に与えた影響やこれからの課題について研究し、人類の生存と安全などについて考え、現代文明の未来を展望します。		
学期	<p><b>【課題・提出物等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元ごとに整理プリントを配付します。単元終了時に提出してもらいます。(3枚程度)</li> <li>・定期テスト後にノート提出してもらいます。</li> <li>・第3学期の3-(5)、(6)については、成果をまとめたレポートや評価票を3月中旬までに提出してもらいます。</li> <li>・調べ学習の成果発表に関する相互評価票。</li> <li>・各自が追究した成果に関するレポート。</li> <li>・課題追究やレポート作成の過程に関する自己評価票。</li> <li>・一年間の学習状況を振り返る自己評価票。</li> </ul>					
	<p><b>【第3学期の評価方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年末テストの成績、小テスト(1回程度実施)、プリント、ワークシート、ノートなどの提出物、発表の内容や工夫、学習活動への参加の状況などで評価します。</li> <li>・学期全体の評価は定期テスト及び小テスト、発表学習の内容、課題を追究したレポートの内容、学習活動への参加態度などを総合的に判断して行います。</li> </ul>					
<p><b>【年間の学習状況の評価方法】</b></p> <p>次ページに示した4つの観点から評価した第1学期の成績、第2学期の成績、第3学期の成績を総合し、年間の学習成績として評価します。自己評価も加味します。</p>						

## 5 評価の観点および内容、評価方法

皆さんの学習状況は、「関心・意欲・態度」「思考・判断」「資料活用の技能・表現」および「知識・理解」の4つの観点で評価します。観点別の評価の内容と方法は下の表を参考にしてください。

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>近現代史を中心とする世界の歴史に関心と問題意識を高めているか。</li> <li>意欲的に追究しようとするとともに国際社会に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとしているか。</li> </ul>	学習活動への参加の仕方及び態度 ワークシート 単元ごとのプリント ビデオプリント ノート 自己評価票 小テスト レポート
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> <li>近現代史を中心とする世界史の知識をもとに、人類の課題を世界的視野に立って多面的・多角的に考察しようとしているか。</li> <li>国際社会の変化を踏まえ公正に判断しているか。</li> </ul>	定期テスト レポート ワークシート 単元ごとのプリント ビデオプリント 発表の内容や方法
資料活用の技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用し、歴史的事象を追究する方法を身に付けているか。</li> <li>追究し、考察した過程や結果を適切に表現しているか。</li> </ul>	定期テスト レポート ワークシート 単元ごとのプリント ビデオプリント 発表の内容や方法
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>前近代について、諸地域世界の歴史的特質と交流の様相を把握しているか。</li> <li>近現代を理解するのに必要な基本的知識を身につけているか。</li> <li>近現代史を中心とする世界の歴史について、我が国の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身につけているか。</li> </ul>	定期テスト 小テスト

## 6 学び方のアドバイス

<p>(1)確かな学力を身につけるためのアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界史の学習とは、細かな年代や人名を覚えることではありません。基本的な事柄をおさえながら、それぞれのできごとにはどのような背景があるのか、他とどのようかかわりを持っているのか、日本とのつながりを含めて、世界史の中でどのように位置づけられるのかなどを常に意識しましょう。</li> <li>歴史の見方・とらえ方は一つとは限りません。常に多角的にとらえるように意識しましょう。</li> <li>見たり、聞いたり、話したりするなかで自分の考えをまとめ、クラスで発表したり、文章にして発表したりするよう心がけましょう。</li> </ul> <p>(2)授業を受けるに当たって守ってほしい事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業がもっとも大切なものです。みなさんと私の真剣勝負の場だというつもりで臨んでください。そして、できるだけ休まないよう心がけてください。</li> <li>教科書はもちろん、副教材も必ず用意し、指示がなくとも自分で調べてみるようにしてください。</li> <li>ノートをとる際は、板書事項を写すだけでなく、自分が気づいたことや考えたこと、他の人の意見なども記入するなど工夫しましょう。そのノートはきっとあなたの宝物になるはずです。</li> <li>「習うより慣れる」の言葉が示すとおり、自分から積極的に取り組むことで得られるものが必ずあるはずです。</li> </ul>
---